

社会司牧通信



202609

★印はカトリック関連

平和の使徒推進本部 正義と平和推進デスクでは、教会が社会へ発信しているメッセージや社会の中で活動する団体の情報をお知らせします。社会へのチャレンジの第一歩として、積極的にご参加ください。

【すべてのいのちを守る月間 9月1日～10月4日】



★[教皇レオ十四世、2026年9月1日「被造物を大切にする世界祈願日」メッセージ | カトリック中央協議会](#)

★日本カトリック司教協議会 ラウダート・シ部門 担当司祭 成井大介司教

[2026年すべてのいのちを守るための月間 ラウダート・シ部門 担当司教メッセージ「いのちの水」 | カトリック中央協議会](#)



★10/3(土) [「すべてのいのちを守るための月間 2026」シンポジウムのご案内 日本カトリック司教協議会ラウダート・シ部門 | カトリック中央協議会](#)

13:00～15:00 シンポジウム 会場：岡山教会 YouTube 配信あり

15:30～16:30 聖フランシスコ特別聖年記念ミサ 別紙：チラシ参照

★[「2026年 世界難民移住移動者の日」広報資料について | カトリック中央協議会](#)

9月最後の日曜日 9/27 は、「世界難民移住移動者の日」になります。

教皇メッセージ：教皇レオ 14 世

趣意書：日本いのち・平和・人権委員会の委員長 森山信三司教

広報資料（ポスター・パンフレット）



●難民・移民なかまのいのち協働基金 ご協力をお願いします！

外国人住民基本法の制定を求めるキリスト者連絡協議会（Iキムニカナ団体）

[難民いのち基金 - GAIKI-KYO](#) 目標金額 400 万円 締切：9 月末

仮放免中、難民申請中、在留資格のない子どもを対象に、一人 3 万円を支援します。



★[熊本地震 特設サイト | カトリック福岡司教区](#)

発災から 1 ヶ月経ちました。日々現場の状況は変化しています。福岡教区 HP をご覧ください。

福岡教区への献金は広島教区でまとめて送ります。（締切 9/30 教区事務所）



★[令和 8 年熊本地震 募金受付を開始いたしました - Caritas Japan](#)

カリタスジャパンへの献金は、すべての被災者のために使われます。

★[災害被災者のための祈り | カトリック中央協議会](#)

大きな自然災害が国の内外で起きています。被災者や支援のために働く人々のために祈りましょう。

ベネズエラ地震・熊本地震・コロンビア地震・インドネシア地震・千葉豪雨・ネパール洪水・北陸豪雨



★[2026年8月21日の死刑執行についての抗議声明 | カトリック中央協議会](#)

日本カトリックいのち・平和・人権委員会 委員長森山信三司教から、高市早苗内閣総理大臣・平口 洋法務大臣（広島 2 区）への、抗議声明です。



フィリピンで行われたアジア地域和解フォーラムにマコも瀬川神父さんに誘われて参加した。あるセッションの時に、マレーシアから参加しているジョジョ神父さんが発した一言をマコは生涯忘れることがないだろう。ジョジョ神父さんは自分のルーツがマレーシアの先住民にあること、そして、先住民たちは大地につながりその調和を生きていくことで人と人との間に平和を作っていた、ということをつかち合ってくれ、そしてこう言ったのだ。“Jesus was also Indigenous! (イエスも先住民だったのだ!)”と。

ずっと探していたパズルの大事なピースが見つかったようなそんな感覚だった。このピースがあることでバラバラのものが繋がっていくような。そうか、イエスも先住民だったんだ。当然のことなのかもしれないけれども、そう言ってくれる人は初めてだったのだ。教会の友だちに聞かれたことがある。

「マコが頑張っているラウダート・シの活動と先住民の話にどんな関係があるの？」マコが先住民の知恵に惹かれていくことが、信仰とどうつながるのか？友人にとって疑問だったのだろう。そして、その時、マコにも答えることができなかった。キリスト教の信仰を深めていくことと先住民の知恵について学ぶことは別のことなのだろうか、どこかで繋がっているのだろうか。

「イエスも先住民だった。」そのジョジョ神父の言葉は神さまからの贈り物のように感じられた。最終日の午前中は参加者一人一人、静かな場所を見つけて祈り振り返る時間だった。ジョジョ神父さんとその言葉を祈りの中で味わって、さあ祈りの内容を書き残そうと目を開けると、目の前にジョジョ神父さんが立っていた。「マコ、少しお話をしてもいいかい？」そうして、マコの抱えていた疑問がわかってきたかのように、ジョジョ神父さんは話してくれた。西洋の思想にキリスト教神学があまりに影響を受けてきてしまってきたことで、私たちもその眼差しや耳で福音を理解してしまっていること。実際にかけているメガネを一度外しながらジョジョ神父が言った。「私たちは慣れしてしんできメガネを一度外して、先住民のメガネからこの福音を読み、世界を見ていかなきゃいけないんだ。」ジョジョ神父を思った時に目の前に彼が現れたこの出来事は、この道を進めというサインなんだ、マコはそう思った。

「オーストラリアのアボリジニーはその土地土地が奏でている歌を聴くことができた。世界は歌によって創造されたという信念を持っていた。その命の振動にソングライン（歌の線）を聴くことで、その命は真に存在することができるんだ。だからマコもその歌を奏でていったらいい。」最後にジョジョ神父がかけてくれた言葉が何度も思い出される。きっとイエスも、行く先々でその土地が歌っている歌に、自分の中に流れている歌に耳を澄ませたのだろう。そんなことを思いながら今年の夏も広島、長崎教区の平和行事に参加した。広島の大地上が奏でる歌に耳を澄ます。すると、被爆した被造物たちの痛みと平和への叫びがマコをその内側へと深く誘ってくれているのを感じた。

(つづく)



★カトリック広島教区 ハラスメント相談窓口：広島教区人権擁護デスク★

受付時間 木曜日（祝日を除く）9:00～16:00 電話番号 082-555-1127

メール：desk-hiroshima@catholic.hiroshima.jp

H・SocialH・Social***H・Social***H・Social***H・Social***H・Social***

発行 カトリック広島教区 平和の使徒推進本部 正義と平和推進デスク

TEL：082-221-6613 FAX：082-221-6019 E-Mail info@social-desk.net